

7月14日、総務常任委員会が秋田県能代市における洋上風力発電について所管事務調査を実施しましたので、調査内容を報告します。

所管事務調査



能代市役所前にて

本市では、再生可能エネルギーとして期待される洋上風力発電の導入が検討されている。そこで、先進事例を学ぶため、導入が進む秋田県能代市にて、総務常任委員会が所管事務調査を行った。

能代市では、3基の火力発電機においてカーボンニュートラルの取り組みを行っているほか、風力、太陽光、バイオマスなど、様々な再生可能エネルギーの導入が進んでいる。洋上風力発電に関しては、令和4年から港湾区域において運転を開始しており、一般海域においては、国から**促進区域**の指定を受け、今後大規模商用プロジェクトを進めることとなっている。また、発電設備の観光利用の検討など、発電のみにとどまらない活用も進められている。

促進区域…政府が洋上風力発電に適した海域をあらかじめ定め、法律に基づいて重点的に整備する区域のこと。

Q 風力発電機は市内に何基あるか。

A 陸上30基、能代港湾内20基の合計50基。

Q 年間の発電量は。

A 能代港湾区域にある風車1基につき4,200kwで、能代港全体で8万世帯分の発電量である。

Q 設置にあたり、地元住民の反対はあったか。

A 反対派はいるが、大きな動きはない。

Q 漁業への影響は。

A 問題ない。影響がないと判断された地域に設置している。

Q 苦情はあるか。

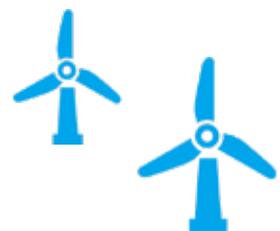
A 特にないが、工事中は海に杭を打つ音について、市民から何の音でいつまで続くのかという問い合わせが多かったため、事業者からHPや新聞広告で周知することで対応した。

Q 今後の課題はあるか。

A 建設やメンテナンス等において地元企業が参入できるよう、事業者に対して地域共生を働きかけていき、地域経済を活性化させることが目標である。



調査に先立ち挨拶をする成田博委員長



能代市の洋上風力発電機

【地域への波及効果（秋田県試算）】

■港湾内（秋田港及び能代港）

経済波及効果・・・約270億円

雇用創出効果・・・約2,650人

■一般海域（秋田市、能代市、由利本荘市、男鹿市の4市沖）

経済波及効果・・・約3,550億円

雇用創出効果・・・約3万5,000人

★波及効果において多くを占める運転保守について、いかに地元企業の参入を図るかが地域の産業振興の鍵になる。

10月に促進区域に指定された本市であるが、今後の本格導入に向け、大変有意義な調査となった。